

# 各駅停話

60

JR京浜東北線28 御徒町

## 日本一きらめく問屋街

町名は消え、駅名だけに残る「御徒町」。江戸時代に徒歩で將軍の警護をした



ジュエリータウンとしての御徒町の変革を模索する高橋隆之会長（東京都台東区上野5丁目）

「御徒士組」などの武士が多く住んだ地域とされる。

駅から南へ、特に東側の沿線には、ショーウインドーに輝く宝石を並べた店が連なる。通りの名も「ダイヤモンド」「サファイヤ」などと、まばゆそうだ。

「宝石はもちろん加工、鑑別まで何でもそろえる日本一の宝飾問屋街です」。宝飾業者でつくる「ジュエリータウンおかちまち」の高橋隆之会長は胸を張る。

江戸時代は髪飾りや仏具などの職人が多く、戦後は米兵の時計やアクセサリなどが売買されたアメ横の裏で、仲買や修理を担って

発展。宝飾品取引の中心地になった。

「20〜30年前は仕入れの大金を抱えて駅を降りる全国の小売業者さんが街にあふれていました。しかし近年はブランド物以外の国内需要は低迷。中国など外国人向け取引に頼るなど、苦戦が続いています」

問屋街のため、取引先は個人ではなく小売業者で、週末や夕方に閉まる店も多いが「一般客にアピールするための変革が必要」と試行錯誤中だ。「今は安くても売りたい店が多く、買いたい時ですよ」と呼びかける。

（上沢博之）

NEXT

上野